

緊張から解放され、ほっとした表情を見せる松岡さん（手前）と岡田さん



屋食休憩の時間を使い踊りのチェックをする選手たち

Let's 車いすダンス! ㊦

独特の緊張感に包まれた会場。試合開始とともに、車いすに乗った人とパートナーが一体となって華麗なステップを繰り広げる。笑。自分が好きになれた。松岡佳子さん34・岡田悠暉さん(38)ペアが、9月14日に同センターで開催する予定だ。この機会に車いすダンスの魅力に触れてみてはどうだろう。

松岡さんは二分脊椎症の治療で生後すぐに手術した際、両足に障害を負った。写真・文 大竹禎之

同支部は支部創立10周年を記念して「車いすダンスフェスティバル2008」を9月14日に同センターで開催する予定だ。この機会に車いすダンスの魅力に触れてみてはどうだろう。

表現磨き 新たな世界開花

松岡さんの手や上半身で表現される美しさとパートナーの岡田さんのダイナミックな動きが一体となり華麗なダンスが表現される—写真はいずれも長野県の志賀高原で6日撮影



えられる「車いすダンス上信越グランプリ」が6日、長野県の志賀高原で開かれた。8回目を迎えた今年大会には92組、71選手がエントリー。4種目12競技で競い合い、車いすダンススポーツ連盟各古屋支部に所属する松岡佳子さん34・岡田悠暉さん(38)ペアが、9月14日に同センターで開催する予定だ。この機会に車いすダンスの魅力に触れてみてはどうだろう。

松岡さんは二分脊椎症の治療で生後すぐに手術した際、両足に障害を負った。写真・文 大竹禎之



車いすを制御する親指はしっかりとテーピングがされている



会場入りの松岡さんと夫の拓也さん。夢の実現には拓也さんのサポートが欠かせない。美しい衣装に身を包み、笑顔で入場する選手たち

